

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年10月19日公開  
ロシア、大規模な軍勢をシリアに向けて移動。ゴグがやってくる！

.....  
イタリアのローマより、シャローム！こんな時間に何で起きているのかと思っていらっしやるでしょう。こちらは真夜中です。どうして今頃アップデートしているのかというと、中東で大変気になる進展があったのです。皆さんも知りたいだろうと思ったからです。

私は、ロシアが聖書の中のマゴグで、プーチンはマゴグの大首長ゴグではないかと考えている、とこれまでも何度もお伝えしてきました。しかし、これからお話しする内容に関して、矛盾した情報が入ってきて、ようやく情報元から確認をとることができました。

現在何が起きているのかと言うと、つい先ほどノルウェーの軍情報公報が「ロシアのアドミラル・クズネツォフの名で知られる巨大航空母艦を移動させているところを、偵察機が探知した」と報道しました。この空母は、戦闘機 Su-33 と MIG-29 を 15 機と、ヘリコプター KA-52 と KA-27 を 10 機以上搭載し、また、駆逐群の一部である他の船も探知されました。8 隻の異なるロシア戦艦、そのうちの一隻はピュートル・ウェリーキー、旧ロシア皇帝の一人にちなんで名づけられたものです。これらの船が、二日半前にノルウェーのアンドーヤ島横で探知され、彼らははるばる地中海を目指していました。なぜ、これが重要なニュースでしょうか？

これらは冷戦以来の最大級のロシア大型船配備です。冷戦の最中でさえ、ロシアが地中海沿岸でこれほど大規模な駐留をすることはありませんでした。私の情報源によると、プーチンはアレッポで起きている、ロシア航空機が何の進展も遂げていないという現行の失態に辟易しているとのこと。そこで、彼は、チェチェンのグロズヌイで敢行したのと同様に、アレッポを完全に破壊することを決意。グロズヌイは完膚なきまでに破壊され、まさにゴーストタウンと化しました。チェチェンで彼は戦争に勝ち、言いなりになる政府や首相を配置しました。以上です。

プーチンは中東が他とは違うことを身を持って学びました。ここはチェチェンと違って、多数の軍勢が様々に異なる隠された意図をもって戦っています。つまり、クルド、トルコ、スンニ派、シーア派、ジハードイスト、その他のイスラム諸国、他にも実に様々で、それらがすべてアレッポで浮上しています。彼はそれに対して文字通り辟易としており、駆け引きを嫌い、ぐずぐずしないで早く終わらせたいと考えています。

世界が一番心配しているのは、プーチンは一旦中東に軍隊を送り込んだら、絶対に後には引かないということを知っているためです。つまり、ロシアは現在、イスラエル北部沿岸

に集中して、これまでの中で**最大級**の軍隊を駐留させています。これは驚愕の動きです！なぜなら、「メシェクとトバルの大首長であるマゴグ」(エゼキエル 38:3) がどのように下ってくるのか？それからあごにかけられる鉤(エゼキエル 38:4)。、プーチンはアサドを防衛するためや、ISIS と戦うためにそこにいるではありません。彼は地中海にある、自分が狙っているもの—イスラエルで発見された石油と天然ガス—を守るため、そこにいるのです。ですから、これらの地下資源が「あごにかけられた鉤」となり、そのために現在彼は地中海に軍隊を送り込んでいるのです。

どうして私がこんなにワクワクしているのかというと、今までにエゼキエル 38 章が、現在目撃されているほど近く、これほど鮮やかに、これほど現実味を帯びているのを見たことがありません。だからと言って、明日イスラエルが戦火に苦しむのかと言えば、そんなことは全くありません。私が言いたいのは、決断が下される瞬間から、イスラエル攻撃への道は半時間～一時間で、もう、何日とか何週間とか、何か月ではないということです。国家が互いに交流のない場合、通常は外交関係が影響します。ですから、私たちが目にしているのは、マゴグの大首長ゴグが、彼の過去最大の軍隊をシリアのすぐ横に駐留させる動きに出ているというものです。

さて、「ロシアはアメリカを攻撃するのか？」という質問をよくされますが、もちろん、それはしません。ロシアは中東で起こっていることに、アメリカを介入させたくないのです。それだけです。だから、彼らのしたことを見てください。彼らは核で脅し、そして彼らがシリアに軍事駐留を置いた現在は、誰も彼らを挑発しようとは思いません。これが彼らの狙いです。彼らはアメリカを攻撃したくはありませんが、ただアメリカがその脅迫に目を向けている間に、自分たちの目的を果たそうとしているのです。アメリカとロシアの対立は、現在シリアで起こっていることを煙に巻いて、見えなくしているのです。

だから、モスルでの攻撃は変なタイミングではない、ということです。バラク・オバマは何とかして自分の威厳を保とうとして、選挙の 20 日前にイラク北部のスニ派最大の町、140 万の人々が住んでいる町に攻撃を命じました。何といえいいでしょう!？これは大失態どころの話ではありません。なぜなら、現在起こっていることは、イラクシーア派軍率いるシーア派民兵が、もう少しでスニ派の町を乗っ取ろうとしているからです。

2014 年 ISIS がモスルを占領したときは、イラクシーア派軍が ISIS というスニ派軍勢の登場に恐れをなしました。ところが、モスルのスニ派住民のことを誰も気かけませんでした。なぜなら、軍隊はシーア派、彼らはスニ派で、彼らは何の問題もなく町を捨てて逃げ出し、そうして ISIS が占領したのです。シーア派はスニ派が ISIS の手中に落ちても、全く気に留めませんでした。

それが今になって、突然、彼らは関心を示し、ISIS が最大の問題となりました。明らかにこのタイミングは怪しくて、現在ワシントンで手ぐすねを引いているのは見え見えです。信じがたいかもしれませんが、「もう国民を戦地には送らない、もうアメリカ軍をイラクへは送らない」と約束した同じ大統領が、また嘘をついているのです。なぜなら、現在あちらで行われている大攻撃にアメリカ軍も入っているのですから。

シリア・アレッポでの戦争も続いています。そして、これまた残念なことに、世界はこの大殺戮を止めようとはしません。そうやっていつも罪のない住民が戦火に晒されるのです。

先ほども言いましたが、このような特別報道をなぜお伝えしようと思ったかという、それはゴグが動き出したからです。シリアに向けて、巨大軍隊を移動させ、軍事駐留しようとしています。現在彼らは、最終的に地中海を目指して、北極海を航行中です。二日もすれば、地中海に姿を現すことでしょう。

繰り返しますが、この報告はノルウェーの軍情報部からのもので、NATO の高官も数時間前に引用していました。

「冷戦以来、初めての大規模な軍配備が行われていると報道された」

私はそれが何なのか、彼らが何を移動させているのか、どの船のことを言っているのかを確認して、こうして皆さんにお伝えすることができています。巨大な空軍、空爆勢力です。あの空母は、はるかに多くの爆弾や戦闘機を搭載できるのです。しかし、彼らは空対空で戦うことはしません。ここで言っているのは、空対地、アレッポの町を完膚なきまでに破壊するのです。この破壊行為について、世界があまりにも沈黙していることが驚きです。

また、イザヤ書 17 章ダマスカスの破壊に対して、彼らはどのように声をあげるのでしょうか。ダマスカスの破滅はいずれエゼキエル 38~39 のイスラエル攻撃へと繋がります。おそらく世界は、アレッポの攻撃に関しては容認するでしょう。しかし、おそらくダマスカスは行きすぎだ、となって、皆が「いい加減にしろ！」と言うのでしょうか。聖書には誰がダマスカスを攻撃するのかが書かれていません。私は、あの地域に存在する何か大きな脅威のために、イスラエルが攻撃することになるのか、もしくは、他の誰かが攻撃をして、そのことでイスラエルがまた責められるのか、一つ確かなことは、エゼキエル戦争へとエスカレートさせる火は、ダマスカスがカギになると思っています。

というわけで、ダマスカス、シリアに目を見張って、全員で頭を上げてワクワクしましょう！イエスが言われたこれらの事柄は絶対に起こることで、私たちには贖いが近いのです！これから数日、私の誕生日の間に、ここローマでメッセージするのがとても楽しみ

です。とても大切なことですから。

それから、皆さん、ぜひ Behold Israel のアプリをダウンロードしてください。毎日、ニュース配信や私の行っていることに関するメッセージが配信されます。また Facebook の Behold Israel のページか、Amir Tsarfati のページをご覧ください。あと、インスタグラムでも Behold Israel をフォローしてください。訪問先の写真やミニストーリーの写真、家族のことも少し載せています。ウェブサイトは Behold Israel.org です。

またアップデートしていきたいと思っています。どこでメッセージを視聴されているのか書き込んでくださってありがとうございます。とても大事なことです。現在、南米を除いて、地球上の全大陸にフォロワーがいることがわかりました。南米については今働きかけているところで、全部スペイン語に翻訳する人を見つけているので、そちらの地域でも手が届くようになります。皆さんのお祈りに感謝しています。

強くありましょう。信仰を持って。あと数時間で最後の大統領討論会が始まりますが、アメリカの皆さん、どうか希望を失わないで。疲れてしまわず、敗北の霊に見舞われないで。事態は変わるかもしれません。ただすべきことを行いましょう。聖書的な公約を掲げている人に投票しましょう。私の言っている意味は、分かりますね？

God bless you!

I love you all!

イタリアから、シャローム！おやすみなさい！

---

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUS>

筆記 by MIHO